陣屋川総合内水対策計画(第1回変更)

~国土交通省・福岡県・久留米市・大刀洗町が連携し住民と一体となって水害に強いまちづくりを目指す~

- 〇平成30年7月豪雨、令和元年7月、8月の大雨、令和2年7月豪雨、令和3年8月の大雨及び令和5年7月豪雨により、住宅等が浸水する内水被害が多く 発生した筑後川水系陣屋川において、国、県、関係市町が連携し、令和4年6月に策定した「陣屋川総合内水対策計画」を変更しました。
- ○関係機関が連携し、ハード・ソフト対策が一体となった総合的な対策を実施することで、被害の軽減を図ります。

被害軽減に向けた治水対策の推進【ハード対策】

- ■近年の降雨では、筑後川本川から陣屋川への逆流を防止するため、水門を閉鎖しポンプ排水を行ったが、ポンプ能力以上の流入量があったため、流域で内水被害が発生
- ⇒ 被害軽減に向け、国、県、関係市町の役割分担 のもとハード対策を集中的に実施
- <主な取り組みメニュー>
- ■陣屋川の河川水位を低下させるための対策
- (国) 排水樋管の改築
- (県・久留米市) 排水ポンプの増設
- (県) 排水ポンプの設置
- (県) 河川改修、<mark>調節池</mark>等の整備
- ■長池川からの溢水等を防止する対策
- (久留米市) 長池川の護岸嵩上げ(パラペット)
- ■陣屋川及び長池川への流出を抑制
- (久留米市) 流域貯留施設の整備
- (久留米市・大刀洗町) 水田の貯留機能向上
- ■陣屋川及び長池川からの逆流防止対策
- (久留米市) 逆流防止施設の設置
- ■河道・管理施設等の適切な維持管理
- (国・県・久留米市・大刀洗町)筑後川、陣屋川、支川等の堆積土砂等撤去



別紙 3

※ 各施設は、今後実施する詳細な調査や検討等の結果により変わる可能性がある。

:追加、変更箇所

陣屋川総合内水対策計画(第1回変更)

~国土交通省・福岡県・久留米市・大刀洗町が連携し住民と一体となって水害に強いまちづくりを目指す~

減災に向けた更なる取り組みの推進【ソフト対策】

- ■将来の気候変動の影響により、ハード対策のみで全てを守りきることは困難と考えられ、住民の自助・共助の取り組みがこれまで以上に重要となる。
- ⇒ 住民が自らの命を守るための備えや行動を支援するソフト対策を集中的に実施。 浸水リスクの高い地域へは、 住家等の新規立地を抑制するための土地利用に関する ルール作りを地域と連携のうえ推進
- <主な取り組みメニュー>
- ■住民の適切な避難判断を支援するための情報提供
- (国) 防災情報が一元的に閲覧できるポータルサイト開設
- (国) 排水機場の監視カメラ画像のホームページ公開
- (国) 流域タイムラインの作成・実施
- (県・市) 防災情報を通知するアプリの運用
- (県) 簡易監視カメラを設置し、ホームページ公開
- (久留米市) 水門・樋門の開閉状況のホームページ公開 等
- ■激甚化する降雨に対して、復旧活動の最前線へ出動
- (国・県) 排水ポンプ車の派遣
- ■平常時からの住民への水害リスク情報の提供
- (国・県・久留米市・大刀洗町) 災害リスクの説明・防災教育の実施
- (久留米市・大刀洗町) ウェブ版ハザードマップの導入

を抑制し、浸水に強い建築物への誘導を図る取組み

■住家等の新規立地の抑制や、河川・水路等への雨水流出

(久留米市) 居住誘導区域の見直し等による土地利用のコントロール

(久留米市) 雨水貯留施設(タンク)や止水板等の設置に伴う助成

■住民の適切な避難判断を支援するための情報提供

・各防災行政機関が各機関のホームページにおいて、発信している 防災情報サイトを利用者がアクセスしやすいようにとりまとめ、一元的 に閲覧できる「筑後川・矢部川防災ポータルサイト」を筑後川河川事 務所ホームページに開設し、地域の防災力向上(自助・共助)を図る。



■激甚化する降雨に対して、復旧活動の最前線へ出動

・排水ポンプ車は、陣屋川 を含む県管理河川等で浸 水被害等が発生した際、一 刻も早く人々の生活を取り 戻すため、最前線に駆け 付け、排水作業を行います。

